

第16回 アジア女性会議 北九州 声明文

北九州市女性の100年史『おんなの軌跡・北九州』刊行記念、第16回 アジア女性会議 北九州「歴史を拓いた女性たち」の参加者は、日本を含むアジアで、女性たちが歴史を切り拓いてきたことについての認識を深めました。アジアの女性たちは、共通の糸と固有の糸を織りなして、彩り豊かな織物を作り上げてきましたし、現在も織り続けています。

近代の歴史を考えますと、アジアの女性たちは、地域における抑圧、破壊、紛争にもかかわらず人づくり、国づくりに貢献してきました。女性たちはこれらの苦難からの解放の歴史を作り上げてきましたが、そのような貢献はこれまでの男性中心の歴史（his-tory）のなかでも、また広く社会においても正當に評価されてきませんでした。ここに、女性の人生や女性たちが成し遂げてきたことに光をあて、可視化することが必要です。

女性は近代の歴史を通じて、常に働いて家族を支え、国の経済に貢献してきました。しかし、その働きの多くは無償労働や低賃金、不安定労働で、「最初に解雇され、最後に雇われ」てきました。このような困難にもかかわらず、女性たちは、力をあわせて、確実に働く場を広げ、労働条件を改善してきました。女性たちのこれまでの経験や努力を踏まえ、私たちアジア女性会議 北九州の参加者は、グローバリゼーションの今日、多様性を認めつつ女性の連帯をはかることこそが、さらなる女性の地位向上とジェンダー平等に重要であることを確認します。

女性は、個人としてまた集団として、自ら学びつつ女性の学びの場を創り出してきました。このような努力の結果、アジアの国々における女子の教育は向上してきております。しかし、それは自動的に女性のエンパワーメントやジェンダー平等を約束するものではないことを忘れることはできません。私たちアジア女性会議 北九州の参加者は、教育において、またあらゆる場での教育や訓練、生涯学習を通じて、ジェンダー平等を推進するよう、さらなる努力を約束します。

歴史を通じて女性は、家族、人びと、社会の安寧を、気づかい、世話をしてきました。女性たちは、女性や高齢者の中での弱者に焦点をあて、皆でケア責任の分かち合いを進めるような政策や社会システムの構築を提唱してきました。私たちアジア女性会議 北九州の参加者は、世界のすべての人びとが、性別や年齢にかかわらず人権を享受でき、健康に生き、互いを大切にし、慈しみあいながら平和に暮らすことができ、性暴力、人身取引を含む暴力に脅かされることのない、公正な社会を築くため、さらなる努力を続けることを誓います。

私たちアジア女性会議 北九州の参加者は、先人たちの達成してきた成果を受け継ぎ、ジェンダー平等や社会的公正が達成された、よりよい世界の創造に向けていっそう努力します。この目的のためアジアの女性たちと共に進みます。

2005年11月5日 参加者一同